

HOT函に寄せられた

「市長への手紙」を

紹介します

飛躍するカギは？

電話	性別	年齢	歳
	男・女		
	年	月	日
記入欄(項目にともなわず自由に書きになってください)			
市では、市役所の正面玄関と中央玄関の二か所に市政への投書箱「HOT函」を設置し、広くご意見・ご提言を募っています。			
「市長への手紙」は、平成十年度には全部で二十八通、今年度は十月三十一日までで二十四通寄せられています。ここでは、そのなかの四通とそれに対する回答の要旨をご紹介します。			
観光・買物 (イベント、おみやげ、お土産など)			
その他			

市では、市役所の正面玄関と中央玄関の二か所に市政への投書箱「HOT函」を設置し、広くご意見・ご提言を募っています。

お問い合わせは
総務課広報広聴係
☎49-3111 (内線258) まで

私の町内では街灯が少なく、夜は怖い。もっと道を明るくしてください。

(二十代 女性)

街灯の設置については、ほかの町内などからも同じような要望があり、皆さんには大変ご不便をおかけしております。

市では要望が多いことから、現場を確認したうえで、町内の代表のかたと話し合い、設置するかどうかを決めております。また、設置する際には緊急性を考慮しながら設置の順番を決めております。

そのため、要望があってもすぐには設置できないこともありますので、ご理解をお願いします。

大館市では車いす利用者など、身体障害者のための施設整備が大きく遅れているのではないのでしょうか。

(三十代 女性)

車いすを利用されているかたにとって、道路の段差や狭い駐車場の車の乗り降り、エレベーターのない建物での階段の昇り降りなどに大変不自由を感じていることとされます。市の施設で最近造

られたものなどについては、身体障害者などのかたに配慮されてきてはいるものの、まだまだ不十分であります。

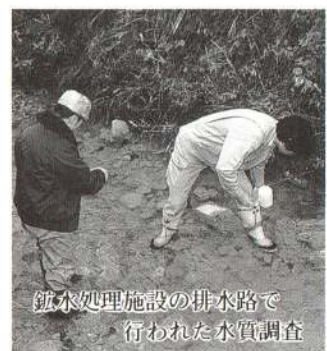
今後は高齢者や身体障害者などのかた、健康者、すべての人が住みよい街づくりを心がけていかなければならないと考えております。そこで、障害者に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくために、平成十年二月に「大館市障害者計画」を策定しました。今後の施策に当たっては、この計画に基づき、みんなにやさしい街づくりを進めたいと考えています。



サン・アビリティーズ大館の身障者専用駐車場

松峰の土壌汚染処理事業には反対です。本当に環境汚染の心配はないのでしょうか。(女性)

市では「環境保全条例」で市外から様々な物質が無制限に持ち込まれることを規制しております。今回の事業でも、事業者から事前に協議書が提出され、市が調査し



排水処理施設の排水路で行われた水質調査

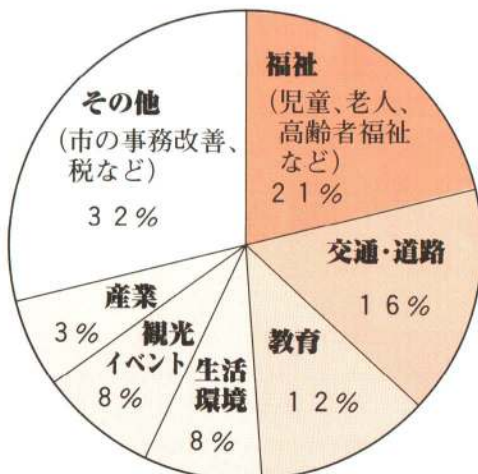
た後、安全面の確保、環境モニタリングの結果の提出・公表などを付した合意書を取り交わしました。事業の開始後にも環境モニタリングや立ち入り調査を行い、結果はいずれも基準値以下でした。

鉱山の技術を生かした環境リサイクル産業は、市の新たな産業として、雇用の拡大や地域の活性化に大きく寄与します。今後も環境保全条例に基づいて、市民の安全対策と環境保全対策を万全かつ最優先するよう、事業者呼び掛けしていきたいと思ひます。

敬老会の対象者が増えてきていますのが、市の負担も大きいのでは。(七十代 男性)

大館市の「敬老会」は、これまで満七十歳以上のかたを対象に行われてきました。しかし、年々、対象者が増えてきたことから、平成五年度から対象年齢を段階的に引き上げ、平成十二年度からは七十五歳以上のかたが対象になります。

また、七十七歳以上のかたには長寿のお祝いと敬老の気持ちを込めて「お祝い金」を支給してきましたが、市の現在の財政状況から見しても見直しの時期にきています。ほかの市町村の例を見ますと、財政的な問題から敬老会やお祝い金の廃止や縮小を行っているところもあります。市でも今後の成り行きを踏まえ検討していきたいと考えています。



市長への手紙 項目別割合

(平成10年4月1日～平成11年10月31日分)

「市長への手紙」の内容で多いのは、例年、道路など生活基盤の整備に関する要望なのですが、最近では介護保険をはじめとする福祉サービスへの提言・要望が増えています。そのほか、「市の事務改善」「税」「職員の対応」についての提言も目立ちます。

「市長への手紙」の内容については難しく考えることはありません。あなたが感じた、大館に対する提言・要望をどしどしお寄せください。